



ニュース 2023年

12

月号

発行日： 2023年 12月 3日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031
e-mail mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

クリスマスと奄美群島の「祖国」復帰を重ねて思うこと

みかさきょうかい しゅにんしさい はまさきまさみ
三笠教会 主任司祭 浜崎真実

ことし がつ にち あまみぐんとう にほん
今年の12月25日は、奄美群島が日本に
ふっき ねんめ さいいじょう じんこう
復帰して70年目になります。14歳以上の人口
こ しよめい だんじき ふっきうんどう
の98%を超える署名や断食など、復帰運動に
にほん もど
よって日本に「戻る」ことになりました。
あめりかがわ くりすますぶれぜんと
アメリカ側からするとクリスマスプレゼントとの
いみ
意味もあったのかもしれませんが。

ほくい ど ど せんび
<北緯30度と29度による線引き>
はいせん にほん れんごうこくぐん せんりょう
敗戦によって日本を連合軍が占領
とうち ぐんと よこすか
統治することになりました。軍都の横須賀は
でっかーしれいかん にほんぐんこくしゆぎ
デッカー司令官によって日本軍国主義から
かいほう ひぐんじか みんしゆか すすめ
解放され、非軍事化と民主化が進められて
げんざい よこすか まち きそ い
現在の横須賀の街の基礎がつけられたと言わ
かれ だい だいきちしれいかん ねん
れます。彼は第4代基地司令官として1946年
ちゃくにん しない せいよぜふびょういん きぬがさびょういん
に着任。市内の聖ヨゼフ病院や衣笠病院、
よこすかがくいん えいこうがくえん おお いりょう
横須賀学院、栄光学園のほか多くの医療、

きょういくきかん せつりつ しえん
教育機関の設立を支援したとのこと。そして
けいざいふっこう ちから そそ
経済復興にも力を注いだとされています。そ
おな ころ ねん ほくい どいなん あまみ
の同じ頃、1946年には北緯30度以南の奄美
ぐんとう おきなわしよとう いた りゅうきゅうこ おがさわら
群島から沖縄諸島に至る琉球弧と小笠原
しよとう にほん きはな
諸島は日本から切り離されました。これはGHQ
にほん りょういき かん せんげん
の「日本の領域」に関する宣言によるものでし
つうしやう ににせんげん よ あと
た(通称「二・二宣言」と呼ばれます)。その後、
ねん がつ にち さんぷらんしすここう
1952年4月28日にサンフランシスコ講
わじょうやく はっこう ほくい どいほく しまじま にほん
和条約が発効し北緯29度以北の島々は日本
へんかん ひ にほん しゆけんかいふく
に返還されました。この日は日本の主権回復
ひ あまみ したた
の日とされていますが、奄美では再び
きす つうこん ひ きおく
切り捨てられた「痛恨の日」として記憶されてい
ます。

べいぐん ちやくせつとうち だんあつ
<米軍の直接統治による弾圧>
あまみぐんとう べいぐんとうち こうつう そうきん
奄美群島は米軍統治で、交通・送金・
しやうとりひき じゆう うば あまみ さんぎょう
商取引の自由を奪われ、奄美の産業は

かいめつじょうたい お こ きが しつぎょう
 壊滅状態に追い込まれ、飢餓と失業が
 ひろ あめりか ほうしゅつ ぶつし しま
 広がりました。アメリカから放出される物資を島
 ひとびと こうにゆう かね ぐんせいふ せんさい
 の人々が購入し、その金を軍政府は戦災
 ふっこう あ ぐんせいふ
 復興に当てていたとのこと。軍政府によって
 あた えんじよ あまみ ひと
 与えられる援助は、もとは奄美の人たちのなけ
 かね し く しょくみんちしはい
 なしの金でした。この仕組みは植民地支配の
 こうぞう おな お つ あまみ ひと
 構造と同じです。追い詰められた奄美の人たち
 はじ ほんかくてき こえ あ
 は、初めて本格的に「NO!」の声を上げました。
 ふっきょうどう はじ ながたこうぞう「あまみ
 それが復帰運動の始まりです(永田浩三『奄美
 きせき ベーじ ねん かげつ あいだ とうこう
 の奇跡』131頁)。8年9ヶ月の間、渡航の
 きんし しゅうかい しゅつぽん じゅう きせい げんろん
 禁止や集会、出版の自由も規制され言論の
 だんあつ きび せいかつ し にほん
 弾圧など厳しい生活を強いられました。日本
 ほんど しれい にほんせいふ
 「本土」はGHQの司令にもとづいて、日本政府
 せいさく じっし かんせつとうち
 が政策を実施する間接統治でしたが、
 き はな りゅうきゅうこ しまじま おがさわらしょう
 切り離された琉球弧の島々や小笠原諸島で
 べいぐん ちやくせつとうち にほん
 は米軍による直接統治でした。そのため日本
 こくけんぼう そと お
 国憲法の外に置かれました。このよう
 じょうきょう ふっきょうどう お
 な状況で「復帰運動」が起きたのです。

そこくふっき そこく
<祖国復帰の祖国とは>
 じさい か だ ころ しんがいでら
 司祭としての駆け出しの頃、「新ガイドライン
 にちべいぼうえいきょうりよく かんするししん しゅうへん
 (日米防衛協力に関する指針)」や「周辺
 じたいほうあん ていき きかいじま ほうえいちよう
 事態法案」が提起され、喜界島に防衛庁が
 つうしんほうじゅしせつ つうしょう ぞう おり けんせつ
 通信傍受施設(通称「象のオリ」)を建設しよ
 うとしているなかで、「奄美の自然と平和を守る
 ぐんみんかいぎ けっせい なかま い
 郡民会議」が結成され、仲間に入れてもらいま
 がつ にち
 した。そのようなつながりから、12月25日の
 ふっき ひ しゅうかい さんか さい
 「復帰の日」の集会にも参加しました。その際、
 ふっきょうどう にな ひと ふっきょうどう
 復帰運動を担ってこられた人に、「復帰運動が

すろーがん そこくふっき そこく
 スローガンとした<祖国復帰>の祖国とはどこ
 と あま
 なのでしょう」と問いかけたことがあります。奄
 み ひと だいにっぽんていこくけんぼう にほん
 美の人たちは大日本帝国憲法の日本ではな
 きほんてきじんけん そんちよう こくみんしゅけん
 く、基本的人権の尊重や国民主権そして
 へいわしゅぎ げんそく にっぽんこくけんぼう
 平和主義を原則とする日本国憲法のある
 そこく かえ
 「祖国」に帰ろうとしたはずです。それなのに、
 ぐんじか すず あまみぐんとうしんこうかいほつこべつ
 軍事化が進められ、奄美群島振興開発特別
 そちほう ほじよきん しぜん こわ やまと かんりゅう
 措置法の補助金が自然を壊しヤマトに還流し
 げんざい ぞう おり
 ていました。現在では、象のオリどころか
 じえいたい みさいるきち けんせつ ちぞうこ
 自衛隊のミサイル基地が建設され、「貯蔵庫」と
 かんぽん だんやくこ せつち
 の看板で「弾薬庫」も設置されています。
 あまみ はな ねんいじょうた あらた ふっき
 奄美を離れて20年以上経ち、改めて復帰
 うんどう ふ かえ たん べいぐんとうち かいほう
 運動を振り返ると、単に米軍統治からの解放
 よろこ ふくざつ じじよう
 を喜ぶだけでなく、そこには複雑な事情がある
 き あまみぐんとう ひと
 ことにも気づかされます。奄美群島の人たちは
 ねん さつま しんりやくいらい りゅうきゅう
 1609年の薩摩による侵略以来、「琉球で
 やまと にじゅう そがい
 もないヤマトでもない」という二重の疎外に
 お じょうたい さつまはん
 置かれました。その状態でかつての薩摩藩の
 あっせい きおく さつま せいりつ おお
 圧政を記憶したまま、薩摩がその成立に大きく
 かか きんだいにほん そこく み そこく
 関わった近代日本を「祖国」と見なして「祖国
 にほん ふっき もと
 日本」への復帰を求めたのです。

どうか びょうどうしゃかい めざ さべつ
**<同化は平等社会を目指すのではなく差別に
 じよれつか うなが
 よる序列化を促す>**
 ふっきょうどう しゅうばん ねん
 復帰運動の終盤、1953年には
 さんふらんしすここうわじょうやくだい じょう たい
 サンフランシスコ講和条約第3条に
 かんが かつ ちが じょうやくだい じょう
 考え方の違いから、これまでの条約第3条
 てつぱい しんたくとうちぜつたいはんたい こえ
 撤廃と信託統治絶対反対の声をあげるべき
 たちば つよ
 ではないとの立場が強くなりました。そのことに

ふっきうんどう はいりゆうはいさつはんきよう
ついて、復帰運動が「排 琉 拝 薩 反 共」の
なが してき きぞく
流れになったとの指摘もあります。それは帰属を
もと さべつ のが どうか ゆいいつ みち
求め、差別から逃れようと同化こそ唯一の道だ
せんたく
と選択したということなのでしょう。

じょうやくだいいじょう あめりか せんざいてきしゆけん
条 約 第 3 条 は、アメリカが「潜在的 主 権」
とりつく つか ぐんじきち じゆう
というトリックを使いながら、軍事基地を自由に
お ぎまん み じようこう
置くことができる、そんな欺瞞に満ちた条 項 で
あらが しぜん あまみ
した。それに抗うことは自然なことで、奄美
ぐんどう ひと そうい
群島の人たちの総意のはずです。しかしその
そうい くず げんざいみさいるきち
総意が崩れたのです。現在ミサイル基地が
お やまと にほん きぞく
置かれているのは、ヤマト(日本)に帰属しても
さべつ つづ あまみ
差別が続いているしるしなのでしょう。奄美の
ふっきうんどう さんか わかもん ぐんたい しばい
復帰運動に参加した若者たちは、軍隊が支配
あまみ おきなわ おも
する奄美や沖縄であってはならない、との思い
た あ
で立ち上がったはずだからです。

どうか さべつ
同化によって差別はなくなるものではありません
さべつしゃ みずか かがいしゃせい じかく さべつ
せん。差別者が自らの加害者性を自覚し、差別
と さべつ
を止めることでしか差別はなくなるからです。
のむらひろや どうかせいさく よしのさくぞう
野村浩也さんは同化政策について吉野作造の

ていぎ しょうかい どうか ぜんぜんにほんじん
定義を 紹介し、「同化とは、『全然日本人と
おな もの い にほんじん
同じ者になれと云ふのではなく』、日本人とはま
こと れついにんげん
ったく異なった劣位の人間になれ、ということ
にほんじん い とお もの
なのである。また『日本人の云ふ通りの者になれ
ようきゆう にほんじん い
といふ 要 求』とは、日本人の言いなりになるよ
じゆうじゆん からだ ようきゆう
うな 従 順 な身体になれ、という 要 求 なのだ」
「むいしき しょくみんちしゆぎ ぞうほかいていばん
(『無意識の 植 民 地 主 義 増 補 改 訂 版』114
ページ せつめい どうか びようどうしゃかい む
頁)と説明します。同化は平 等 社会へ向かう
まった ぎやく さべつ じよれつか
のではなく、全く 逆 の差別による序列化の
ぶろせす じよれつか みずか れつとう
プロセスです。序列化によって自らを劣等な
そんざい いち うなが ないめんか
存在と位置づけるように促され、それを内面化
させられるのです。

がりらや い いえす よくあつ さべつ
ガリラヤで生きたイエスは、抑圧と差別によ
ごくひん お こ がりらや みんしゆう
って極貧に追い込まれていたガリラヤの 民 衆
さべつ きようかいせん こわ びようどうしゃかい
と差別の 境 界 線 を壊すことで、平 等 社会を
めざ ことし くりすます あまみぐんどう
目指しました。今年のクリスマスは、奄美群島の
ふっきうんどう せんじん ねが がりらや
復帰運動の先人たちの願いとガリラヤで
い いえす たんじよう かさ いわ
生きたイエスの 誕 生 を重ねながら祝いたいも
のです。

ねん がつ よてい 2023年12月の予定

がつ にち にち おこな きようかいいんかい ほうこく
11月5日(日)に行われた教会委員会の報告です。

てんれいれき ぎょうじ かつどう
< 典礼暦と行事・活動 >

ふくいんせんきょうぶかい
12月 2日(土)福音 宣 教 部 会

たいこうせつだい しゅじつ ねん
3日(日)待降節第1主日(B年)

きようかいいんかい てんれいぶかい
教 会 委 員 会、典 礼 部 会

ふじのゆたかし こうえんかい
9日(土)13:00～ 藤野 豊氏 講演会
はんせんびょうさべつ かんが ふくいんせんきょうぶかい
「ハンセン病差別について 考える」 福音 宣 教 部 会

たいこうせつだい しゅじつ
10日(日)待降節第2主日
まな こうざ きゅうやくぜんしよ よ はまさきし
11:00 学びなおし講座「旧約全書を読む」浜崎師

たいこうせつだい しゅじつ
17日(日)待降節第3主日
たいこうせつもくそうかい やまうち けんじしんぶさま せいぱうろかい
待降節黙想会 山内 堅治神父様(聖パウロ会)
きょうかいがっこう
教会 学校

たいこうせつだい しゅじつ
24日(日)待降節第4主日
じみさごくりすますぱーていー
10時ミサ後クリスマスパーティー
まる こふくいんしよ よ ふくいんせんきょうぶかい
9:00 「マルコ福音書を読む」福音 宣 教 部 会
えいごみさ
15:00 英語ミサ
しゅ こうたん やはん がいこくせき ひとびと とも ささ みさ
19:00 主の降誕(夜半)「外国籍の人々と共に捧げるミサ」

しゅ こうたん につちゅう みさ
25日(月)主の降誕(日中)ミサなし

せいかにぞく
31日(日)聖家族

しんねんみさ
2024年1月1日(月)11:00 新年ミサ

てんれいれき ねん はい ごぜん じ みさ たいこうせつだい しゅ
☆12月3日(日)から典礼暦B年に入りました。24日(日)午前10時のミサは待降節第4主
じつ てんれい おこな しゅ こうたん みさ みかさきょうかい ごごじ やはん
日の典礼で行われます。主のご降誕のミサは、三笠教会では24日午後7時からの夜半
みさ がいこくせき ひとびと とも ささ みさ
ミサ(外国籍の人々と共に捧げるミサ)です。

こうたんさい につちゅう おおつきょうかい ごぜん はまさきしんぶさましき みさ あずか
25日(月)の降誕祭(日中)は、大津教会で午前9:30から浜崎神父様司式のミサに与
しょうちただ ねが
れます。ご承知 頂 きますようお願いいたします。

なお くりすますぱーていー ごぜん じみさご おこな
尚、クリスマスパーティーは24日午前10時ミサ後に 行 います。

ふくいんせんきょうぶがかい
福音宣教部会からのお知らせ

いちねん
一年をふりかえって

まな つき かい きゅうやく
「学びなおし」はそれぞれ月1回の「旧約
ぜんしょ よ まる こふくいんしょ よ
全書を読む」と「マルコ福音書を読む」でした。
きおく のこ しゅうかいご ざつだんたいむ かた
記憶に残るのは、集会後の雑談タイムに語
だ ひと ふ かた ひと
り出す人が増えたことです。「語りた人っ
しょうじき
てこんなにいるんだ」というのが正直な
いんしやう
印象です。

で きょうかい じんけん きち きこう
「出かける教会」は、「人権・基地・気候
せいぎ てーま がいぶこうし こうえんかい
正義」をテーマとした外部講師による講演会
いべんと けっかてき ねんかん かい
とイベントでした。結果的に1年間で9回の
かいさい まいつき かい どうようご
開催となり、ほぼ毎月1回の土曜午後の
いべんと ていちやく おも
イベントはなんとか定着したのかなと思っ
おも こうし
ています。思いかえすと、さまざまな講師か
いま し かんが
ら今まで知らなかったこと、考えたことも
まな こうし
なかったことを学べたと、講師をつとめてい
かたがた あらた かんしゃ
ただいた方々には改めて感謝いたします。
こうし かこ さわかい しみんかつどう
また、講師を囲んでの茶話会で市民活動に
さんか ひと こうりゅう おお
参加している人たちと交流できたのは大
しゅうかく さわかい も あ
きな収穫でした。茶話会がこんなに盛り上
しゅさいしゃ よそう
がろうとは、主催者として予想していないこ
とでした。

ねんど む
2024年度へ向けて

で きょうかい とも あゆ きょうかい
「出かける教会、共に歩む教会になろ
ぶつかつさいいこう
う」ということをめざして、復活祭以降の

きかく かんが いちねん
企画を考えているところです。この一年、
とく きち まちよこすか かんが つど
特に「基地の街ヨコスカを考える集い」の
かてい よこすか まち とくしゅ
過程で、横須賀というこの街の特殊さ、
しゅくめい かんが え
宿命を考へざるを得ませんでした。
よこすか おきなわ
横須賀は沖縄ほどではないにしても、
しゅとけん どうきょうわんとう ぼいんと
首都圏のはずれの東京湾頭のポイントにあ
ぐんじ きちしゅうせきち とくしゅ
る軍事基地集積地として、かなり特殊な
しゅくめい せお まち い
宿命を背負わされた街であると言わざる
え つうかん
を得ないと痛感しています。このようなこと
ねんかんでーま ちいき かたがた ふか
を年間テーマとして地域の方々と深めてい
ねが
けたらと願っています。
まち あゆ とも あゆ いみ
「街の歩みと共に歩む」という意味では20
ねん よこすか つぎ よそく
24年の横須賀では次のようなことが予測
されています。
ねんどこうはん げんしりよくくうぼ ろなるとれーがん
年度後半に原子力空母「ロナルド・レーガン」
じょーじ わしんとん こうたい
が「ジョージ・ワシントン」に交代することが
よてい
予定されています。
らいねん しぜ へいわさんぎやう
来年は市是ともなっている「平和産業
としよこすか ほうてきこんきよ きゅう
都市横須賀」の法的根拠ともなった「旧
ぐんこうしてんかんほう ぐんてんほう しこう
軍港市転換法」(いわゆる「軍転法」)の施行
しゅうねん ふしめ とし あ
75周年という節目の年に当たっています。
がつ よこすかかりよくはつでんしよかどうさ と
2月には「横須賀火力発電所稼働差し止め
そしやうこうそしん はんけつ どうきやうこうとうさいばんしよ
訴訟控訴審」の判決が東京高等裁判所で
い わた
言い渡されます。
まち あゆ とも あゆ
このような街の歩みと共に歩めたらと
きぼう
希望しています。

あたら たいけん
新しい体験

あたら たいけん ふ だ ふしぎ
新しい体験へ踏み出すと、不思議なこと
じぶん そと み かんかく も ひと
に自分を外から見るという感覚を持った人
おお おも じぶん まち
は多いのではないかと思います。「自分の街
で じぶん まち かだい とも あゆ
へ出かける」「自分の街の課題と共に歩む」
かつどう ひと とも あゆ
「そういう活動をしている人と共に歩む」た
けっていき あたら
ったこれだけのことで、決定的に新しい

たいけん おも いっぽ
体験だと思えます。一步あゆみだしてしまえ
いっぽ
ばなんといふことはなないことでも、その一步
かぎ とお おも こうき
が限りなく遠いものに思えます。「後期
こうれいしゃ ししゅんき やゆ
高齢者が思春期をやってどうするの！」揶揄
いちねん
されながらの一年でした。

がつ がつ いべんと
1月～2月のイベント

はんせんびょうもんだい あやま くに せいさく さべつ へんけん なか い
1月27日(土) 13:00 ハンセン病問題・誤った国の政策で差別と偏見の中を生きて

かぞく はんせんびょうかぞくそしょうとうじしゃ はなし
きた家族(ハンセン病家族訴訟当事者の話)

きち まちよ こそか がくしゅうたいけん こうりゅうかい
2月10日(土) 13:00 基地の街ヨコスカをめぐる学習体験の交流会

だい かい きち まちよ こそか かんが つど
(第3回・基地の街ヨコスカを考える集い)

いま まち すけじゅーる
今なにがおきているのか……街のスケジュール

くうぼこうか ねんしんぼ しみん かいそうかい さんぎょうこうりゅうぶらざ
12月3日(日) 13:30 空母母港化50年シンポ・市民の会総会(産業交流プラザ)

げんしりょくくうぼふゆ ぱれーど うゑるにーこうえんしゅうごう
12月17日(日) 13:30 いらぬ原子力空母冬のパレード(ヴェルニー公園集會)

よこそかかりょくそしょうこうそしん はんけつ とうきょうこうとうさいばんしょ
2月22日(木) 11:00 横須賀火力訴訟控訴審の判決(東京高等裁判所)

がつ いべんと こうし めっせーじ
11月のイベントで講師をつとめていただいたみなさんからメッセージをいただきました。
こうし めっせーじ
た。講師のみなさんにはメッセージをありがとうございました。

め お たかお
(名生 尚雄)

よこすか きゅうぐんてんようざいさん きち
横須賀の旧軍転用財産と基地について

げんしりよくうぼ よこすかぼこうか かんが しみん かい ごとう まさひこ
原子力空母の横須賀母港化を考える市民の会 呉東 正彦

せんぜん よこすか きゅうぐんしせつ つぎつぎ
戦前の横須賀は旧軍施設が次々と
かくちよう し しゅようぶ
拡張され、市の主要部の18,892,903㎡
げんざいしいき やく し
(現在市域の約18%)を占めていまし
かくちよう じぶん とち
た。その拡張のために、自分たちの土地
はんきょうせいてき たちの ひとたち おお
を半強制的に立退かされた人達も多く
かいぐん かいぐんこうしよう つと
います。また海軍や海軍工 廠に勤める
ひとたち ぜんこく あつ じんこう きゅうぞう
人達が全国から集まり人口が急増し
としけいかく むちつじよ じゅうたくけんせつ
て、都市計画のない無秩序な住宅建設
よこすか きちしゅうへん やま うえ おこな
が、横須賀基地周辺の山の上まで行わ
けっかはいせん
れてしまいました。その結果敗戦により
ぐんようち べいぐん せつしゅう よこすか
軍用地が米軍に接収されると、横須賀
しみん さんぎょうかつどう はたら ば
市民は産業活動と働く場がなくなって
こんきゅうじようたい おちい
困窮状態に陥りました。そこで
ぐんようち ふっこう かつよう しみん
軍用地を復興のために活用しようと市民
うんどう お きゅうぐんようざいさん
ぐるみの運動が起こり、旧軍用財産を
へいわさんぎょうこうわんと し てんかん むしやう
平和産業港湾都市に転換するため無償
また ていがく ほうらいさ ないよう
又は低額で払下げできることを内容とす
きゅうぐんこうしてんかんほう しみん じゅうみん
る旧軍港市転換法が、市民の住民
とうひよう へ しやうわ ねん しこう
投票を経て昭和25年に施行されました。
ぐんようち し けん くに
そして軍用地のうち約30%が市・県・国
とう こうきょうしせつ みんかん
等の公共施設となり、約20%が民間に
ほうらいさ にっさんじどうしゃとう はじ
払下げられて日産自動車等を初めとする
こうぎやうだんち つく やく
工業団地が作られました。しかし約17.
べいぐんきち のこ やく
8%は米軍基地として残され、約15%は

じえいたいきち けっか
自衛隊基地となったのです。その結果
こーすか げいじゆつげきじよう くりはまはな くに
コースカ、芸術劇場、久里浜花の国、
いりやまずきようぎじようとう よこすか しゅよう
不入斗競技場等、横須賀の主要な
こうきょうしせつ こうじよう へんかん ぐんようち
公共施設や工場は返還された軍用地に
つく はってん かく
作られ、まちづくりと発展の核となり、
かんみん きち しゅうやく へんかん しぜ
官民あげて基地の集約と返還を市是と
もと
して求めてきたのです。
さいきんきち へんかん うご と
ところが最近基地返還の動きが止まる
とも へんかん みんかん しゅう ぐんてん
と共に、返還された民間・市有の軍転
ざいさん じえいたいきち うご けんちよ
財産が自衛隊基地となる動きが顕著で、
へんかんよてい ひようだんやくこ せいびきやうか
返還予定だった比与宇弾薬庫が整備強化
ながうらしえいさんばし じえいたいさんばしか
され、長浦市営棧橋が自衛隊棧橋化し、
かんとくじどうしゃ べいすたーずれんしゅうじようあち
関東自動車、バイスターズ練習場跡地
じえいたいきち もと べいぐんきち
も自衛隊基地に戻りました。米軍基地も
うらごうだんやくこまえ ていきやうすいいき かくだい
浦郷弾薬庫前の提供水域が拡大し、
ぴあまえ いっぱんすいいき べいぐん しゅんせつ
ピア5前の一般水域が米軍のため浚渫
うご めだ きち
されるなどの動きが目立ちます。基地の
そんざい きぎやうゆうち どうろしんせつとう しやうがい
存在が企業誘致や道路新設等の障害と
まち いめーじていか まね ふく
なり、町のイメージ低下を招くことも含
わたしたち いま せんごよこすか しぜ
め、私達は今こそ戦後横須賀の市是であ
きち しゅうやくへんかん へいわさんぎやうとし
る基地の集約返還による平和産業都市
しみん ついきやう
を市民ぐるみで追求すべきでしょう。

こうこうせいへいわたいし くうぼぼこう ねん ばん ぶん 高校生平和大使と「空母母港50年」パンフ

ひかくしせんげんうんどう よこすか よこすかへいわせんだん にいくら ひろし
非核市宣言運動・ヨコスカ／ヨコスカ平和船団 新倉 裕史

みかさきょうかい みかさこうえん まいとし
三笠教会のおとなり三笠公園で、毎年
がつ びーす ふえすていばる へいわ
10月「ピース・フェスティバル」という平和の
まつり かいさい よこすか きち
お祭が開催されています。横須賀基地の
ぶん りつたいもけい とまほーく
1000分の1の立体模型、「トマホーク」の
じつぶつだいもけてんじ かいじょうない みに はし
実物大模型展示。会場内にはミニSLが走
もぎてん りょうり のもの なら
り、模擬店では料理や飲み物が並びます。
ぐんこうくるーず だいにんき
軍港クルーズも大人気です。

ころな ちゅうし ことし
● コロナで中止だったのですが、今年10
がつ にち ねん かいさい
月22日、4年ぶりの開催となりました。
しみんすいそうがくだん びーす
市民吹奏楽団やよろずピースBANDの
えんそう つづ すてーじ こうこうせいへいわたいし
演奏が続くステージでは、高校生平和大使
すびーち
のスピーチも。

ぼこう ねん よこすか くうぼ
「母港50年 横須賀の空母がしてきたこと」
はいどく さっし なか よこすか ち
を拝読し、この冊子の中で、ここ横須賀の地
くうぼ ぼこう あつぎ そら
が空母の母港となることで厚木の空を
かんさいき おうだん じゅうたくち ついらく そうおん
艦載機が横断し、住宅地への墜落、騒音と
がい かん
いった害をもたらしていることに関して、
よこすか そら しず りゅう し
「横須賀の空が静かな理由を知らないままで
いいのか」という一文に、私自身はっとさ
わたし みちか
せられるものがありました。私は身近に

きち ぼしよ く
基地のない場所に暮らしています。しかしこ
きちもんだい むとんちゃく
のことは、基地問題に無頓着でいていい
りゅう にほん く
理由にはなりません。日本で暮らすものとし
よこすか くうぼもんだい ぜんこく きちもんだい
て、横須賀の空母問題、全国の基地問題を、
じぶん もんだい み ひつよう かん
自分の問題として見つめる必要があると感じ
ました」

くうぼぼこう ねん ばん ぶん しんぶんかくし
● 「空母母港50年」パンフは、新聞各紙に
と あ はんばいすう さつ こ
取り上げられ、販売数は1000冊を超えま
した。

いま くうぼ げんしりよくすいしん みかさ
今、空母は原子力推進となって、三笠
きょうかい ぼしよ ていはく
教会から1.3kmの場所に停泊しています。
よこすか くうぼ ぼこう くうぼ
横須賀がなぜ空母の母港となったのか。空母
ねん まち か
の50年はこの街をどんなふうに変えたのか。
ちい さっし れきししよ
小さな冊子ですが、ひとつの「歴史書」とし
ひらさか のぼ き うせつ
てまとめました。平坂を登り切って右折した
なかざとしょうてんがい としよかん さか てまえ
中里商店街。図書館につながる坂の手前
えいみす
の「Books & Cafe Amis(エイミス)」さんで
こうにゅう さつ えん
購入できます。1冊200円です。

かんこくか とりっくきこうこうどう めっせーじ
韓国カトリック気候行動からのメッセージ

かんこくか とりっくきこうへんどうきょういくちーむ おひよな
韓国カトリック気候変動教育チーム オ・ヒヨナ

せいちょうしゅぎ しほんしゅぎ ひはん
成長主義や資本主義を批判すること
きよひかん おぼ しんと かんこく
に拒否感を覚える信徒が韓国にもいる
じじつ なか かいちよく
ことは事実です。でもそんな中で回勅
らうだーとし こんにち きょうかい すす
「ラウダート・シ」が今日の教会の進
ほうこう ていじ
むべき方向を提示してくれます。
ふびょうどう きこうき き しんこく げんいん
不平等と気候危機の深刻さの原因を
せいさつ かとりっくしんじゃ なに
省察して、カトリック信者として何を
しつもん な ひつよう
なすべきか質問を投げかける必要があり
ります。

ばくぜん かんが
どうすればいいのか漠然と考えてい
しんと いま おこな ぐたいてき
る信徒には今までに行ってきた具体的
こうどう れいじ かんたん ちい
な行動で例示します。簡単なこと、小
じよじよ じっせん つ かせ
さなことから徐々に実践を積み重ねま
かくじつ
す。そうすればゆっくりだけれど確実な

へんか あらわ
変化が現れます。
たと ほんちよん ほしゆてき のうそん
例えばホンチョンは保守的な農村
ちいき かとりっくきょうかい
地域ですが、カトリック教会が
いちねんかん ふんかんえいぞう きょういくじっせん
一年間、5分間映像などで教育実践
じっし ご おこな
を実施したところ、その後に行われた
かとりっくきこうだいこうしん
「カトリック気候大行進」では、60
にん さんか ほんちよん さんかしゃ
0人が参加し、ホンチョンからの参加者
おお
がいちばん多いということになりました
さいぎん べんどう にくしよく
た。最近ではお弁当も肉食はやめよ
うということになっています。
しゃかうんどう さんか
社会運動に参加しているというより
きりすとしゃ じぶん ぎむ
も、キリスト者としての自分の義務と
かつどう じげん はじ ちゃくじつ
活動という次元から始めれば着実に
こうどう ひろ しん
行動は広がると信じています。